

アレコリンの分析

アレコリンは、ビンロウ *Areca catechu* L. *の果実に含まれるピリジナルカロイドの一つです。黄色の油状液体で水、アルコールに易溶であり副交感神経興奮薬として知られており、またジョウ虫、回虫及び十二指腸虫に対し駆虫作用があるために家畜の駆虫剤として用いられています。

下図は、アレコリンのクロマトグラムで溶離液に過塩素酸ナトリウムを含む逆相イオン対クロマトグラフィーにより分離しました。

*ビンロウ樹：シュロ科の常緑高木。 インドネシア、タイ及び台湾産が有名で卵大の実は甘くて渋い。 薬用・染料の用途がある。

測定条件

カラム：TSK gel ODS-80Ts (4.6mm I.D. x15cm)
 溶離液：20mM NaH_2PO_4 + 100mM NaClO_4 / $\text{CH}_3\text{OH} = 9 / 1$
 流速：1.0 ml/min 温度：40°C 注入量：20ul
 試料：アレコリン (0.1mg/ml)
 検出：UV (215nm)

装置構成

CCPS, UV-8020, CO-8020, AS-8020, SC-8020

